

社会経済の状況と加茂市の特性・課題（たたき台）

1. 人口減少と少子高齢化

- 人口は、昭和25年（39,887人）から減少が続いている。国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、今後さらに減少する。
- 出生数も減少傾向が続いている。

2. 安全・安心への意識の高まり

- 大規模な災害の発生
中越地震（平成16年）、中越沖地震（平成19年）、東日本大震災（平成23年）等の地震災害
7.13水害（平成16年）、新潟・福島豪雨（平成23年）の豪雨災害
- アンケートでも関心が高い。（防災・防犯）

3. 社会経済・構造の変化

- 東京一極集中の人の流れ
- 新型コロナウイルスの影響（テレワーク・新しい生活様式）
- Society5.0、デジタル化の推進
- SDGs（持続可能な開発目標）への取組が求められている。

4. 地方財政の深刻化

- 財政指数（財政調整基金額が少ない、経常収支比率が高いなど）
- 今後も税収の伸びは見込めない
税収 29.2億（2009年）、26.7億（2019年）△2.5億、△8.5%（決算額）

5. 公共施設の老朽化

高度成長期（1954～1970年）の頃に整備された建物の更新時期が重なり対策経費の増大・事故のリスクの高まり

6. 自然・文化・伝統

粟ヶ岳、加茂川、加茂山公園などの恵まれた自然環境。小京都など。内容は検討中